

# Spring Report 2021年春

第八管区海上保安本部  
交通部 安全対策課

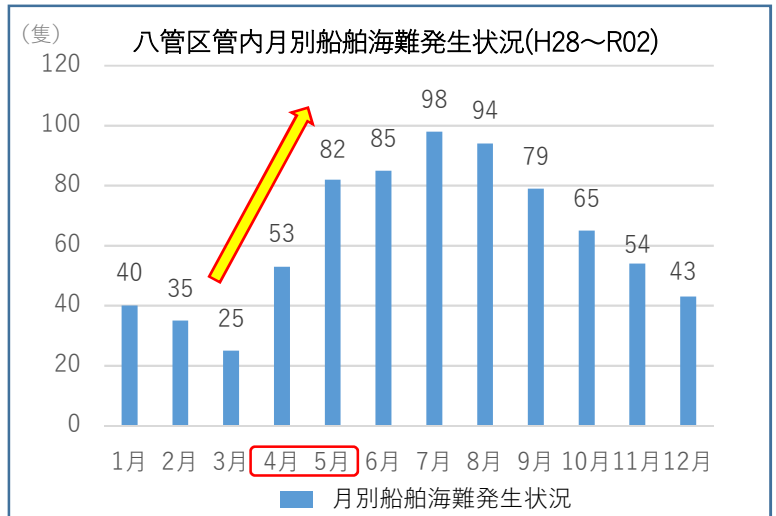


第八管区海上保安本部 海難防止キャラクター ハルちゃん

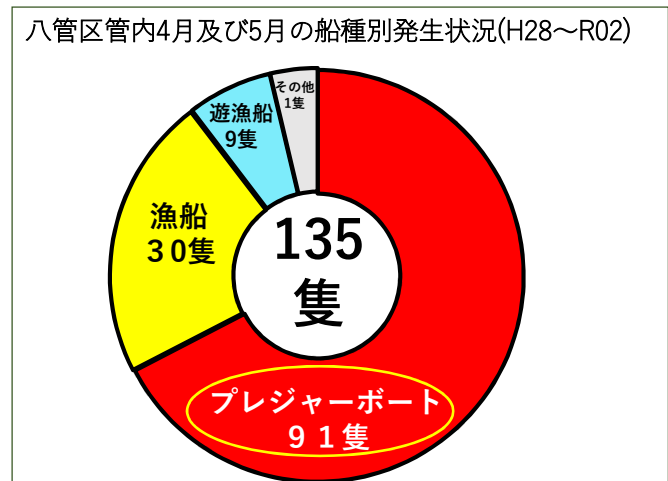
# 春季船舶海難の傾向と対策

春は事故が増える季節と言いますが・・・

春が訪れ、暖かな日差しが気持ちいい季節になりましたね。我々、海上保安庁ではよく「春になると海での事故が増えます」というところで注意喚起を行いますが、実際に数字として見るとどうでしょうか？今日はこの分析を行いたいと思います。右の図は第八管区海上保安本部管内における過去5年の船舶海難発生隻数の推移です（プレジャーボートや漁船など全ての船種を含みます）。確かに4月、5月にかけて**右肩上がり**に件数が増えていますね。



では、この急激に発生件数が増える4月及び5月は「**どのような船による事故が多いのか？**」ということですが、右図が過去5年の4月及び5月に発生した船舶海難の船種別発生状況です。プレジャーボートが圧倒的に多く、実に全体の70%を占めています。これからの季節はプレジャーボートによる事故が増える傾向であることから、**プレジャーボートの事故防止対策**が急務であることが読み取れますね。

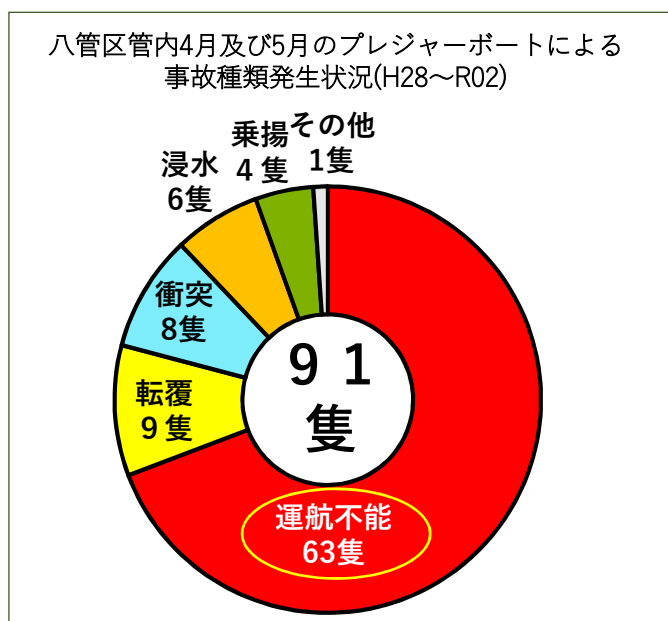


次に過去5年の4月及び5月に発生した91隻のプレジャーボートによる海難事故はどのような種別となっているのでしょうか？

右図は、この91隻の事故を種類別に円グラフで示したものです。

洋上で何らかの原因で船が航行できなくなる「**運航不能**」が最も多く発生しています。

段々と核心に迫ってきました。次にこの運航不能となった63隻をさらに詳細に分析します。



63隻のプレジャーボートによる運航不能の海難のうち、**機関故障**が24隻を占めています。

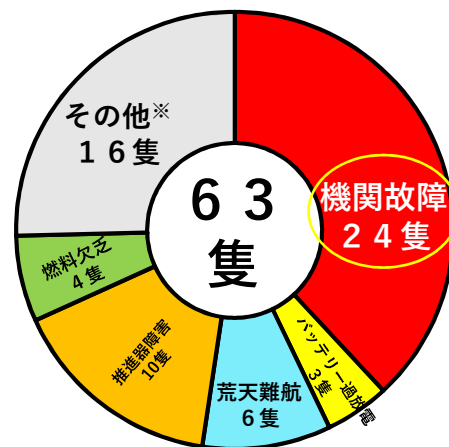
この機関故障というのは、**船の機関（エンジン）が何らかの原因で故障してしまう事故**です。

ではこの24隻の機関故障はどのような原因で発生しているのでしょうか？

海上保安庁が行った事故原因の調査（海難調査）の結果、過去5年の4月及び5月に発生したプレジャーボートによる機関故障24隻の原因として最も多いのが「**整備不良**」でした。この「整備不良」には乗船者が適切に発航前点検を実施できていれば発見できていた箇所故障もあれば、**専門業者でない**と確認できないような箇所の故障もあります。

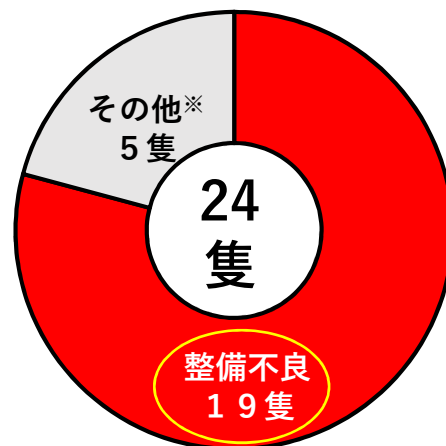
これまでの分析結果を踏まえると春季における船舶海難には以下のような傾向があることが読み取れますね。

八管区管内4月及び5月のプレジャーボートによる運航不能事故の詳細(H28～R02)



※運航不能（操船技能不足）など発生隻数が2隻以下の事故を複数種類まとめて「その他」として計上しています

八管区管内4月及び5月のプレジャーボートによる機関故障事故の原因(H28～R02)



※機関取扱不注意による運航不能等を「その他」として計上しています

### 過去5年の春季船舶海難の傾向

- 4月及び5月は船舶海難の発生隻数が右肩上がりに上昇する季節！
- プレジャーボートによる運航不能(機関故障)が最も多く発生！
- 機関故障の原因として最も多いのが「整備不良」  
専門業者でないで確認できないような箇所での機関故障も発生！

次ページ

Topics

機関故障事故の対策

洋上で船が突然動かなくなったら。とても怖いですね。  
冬場に全く船を動かしていない場合、何らかの故障が発生するリスクは高くなります。万が一に備えて下記項目をチェックしましょう！



備え①



整備業者による定期的なメンテナンスを実施しましょう。一般の方では確認が難しい箇所での故障が多く発生しています。

備え②



発航前には発航前点検チェックリストを活用して、船長自ら確認するのも忘れずに。燃料やバッテリーの容量は大丈夫ですか？

備え③



バッテリー過放電に備えて、ジャンプスターターを携行しましょう！

備え④



「救助支援者」を確保しておきましょう。マリナーやプレジャーボートを持つ友人があなたの大切な「救助支援者」です。



備え⑤

そして海のもしものは「118番」  
緊急を要する場合、生命に関わる重大な事故が発生した場合は迷わず118番通報を実施しましょう！

冬場は海上が時化模様となりますので、愛車ならぬ「愛船」を使用していない、という方も多いのではないのでしょうか？4月・5月は暖くなり人の動きが活発になる一方で、しばらく使用していなかった船の点検が行き届かないまま出港することで、整備不良による機関故障が多く発生しているものと考えられます。

今年最初の出港を計画している方は是非とも！今シーズンの安全運航を目的として、普段ご自身で行われる点検に加え、専門業者による点検・メンテナンスも行いましょう！

### 海に出る前にこれだけは確認しよう！

小型船舶の事故の発生状況や事故を防止するための注意事項などをまとめたものです。発航前検査チェックリストや、機関のトラブルシューティングなども掲載しています。

[https://www6.kaiho.milt.go.jp/info/marinesafety/01\\_safetyguide/uminiderumaeni.pdf](https://www6.kaiho.milt.go.jp/info/marinesafety/01_safetyguide/uminiderumaeni.pdf)



# 発航前点検チェックリスト

## エンジン始動前の検査

### 船体の検査

- ①  船体に亀裂や破口はないですか。
- ②  エンジンルームや船底のピルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



### エンジンの検査

- ③  航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- ④  燃料コック（バルブ）は開いていますか。  
燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ⑤  エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- ⑥  冷却清水の量は十分ですか。
- ⑦  バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



### 救命設備等その他の検査

- ⑧  ライフジャケットを着用しましたか。
- ⑨  通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- ⑩  気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



## エンジン始動後の検査

### エンジンの状態確認

- ⑪  回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- ⑫  冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- ⑬  エンジンから異常な音や臭いは出ていませんか。



発航前点検チェックリストを活用し、出港前は毎回確実に各箇所を確認するようにしましょう。

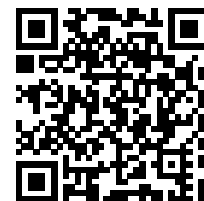
「前回問題なく航行できたから大丈夫」ではなく、「**今日も安全に航行できるように**」と思いながら毎回確認しましょう。安全な航行は日頃の地道な発航前点検の積み重ねです！！



第八管区海上保安本部

第八管区海上保安本部ホームページ「海で遊ぶ」

[https://www.kaiho.milt.go.jp/08kanku/Potal/01\\_asobu/asobu\\_index.html](https://www.kaiho.milt.go.jp/08kanku/Potal/01_asobu/asobu_index.html)



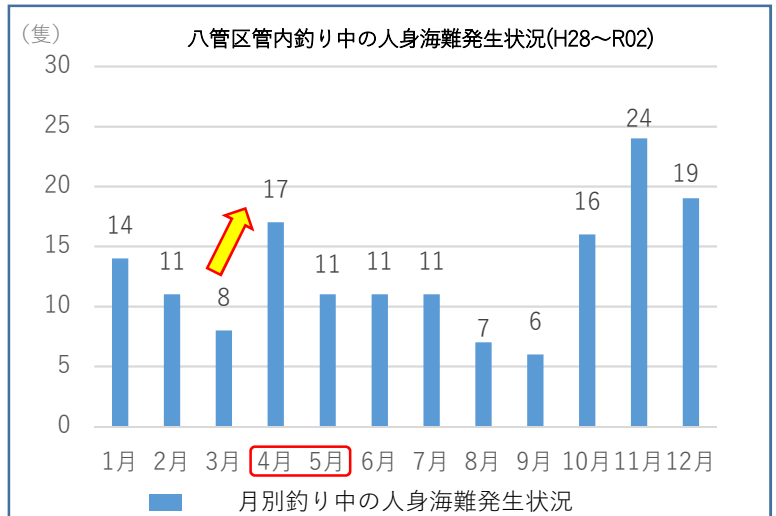
# 春季人身海難の傾向と対策

## 釣りに出かける方が増える時期ですね

春のマリンレジャーと言えば「釣り」ですよね。アジ・サバ・アオリイカなどなど。釣り好きの方にとっては待ちにまった釣りシーズン開幕ですね。

しかしご注意！釣りシーズン開幕ということは釣り中の事故も増加するのが春季なんです。

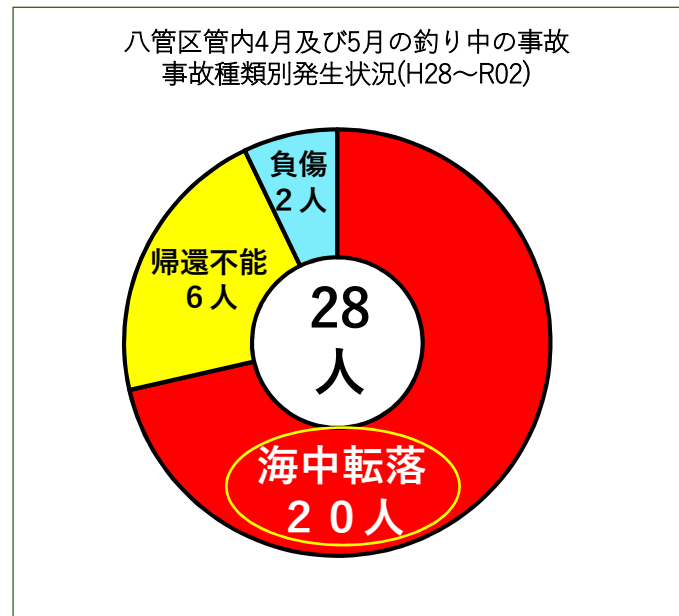
右図は第八管区海上保安本部管内における過去5年の釣り中の事故者の推移です。4月の事故者数は3月の2倍以上！釣り中の事故防止を図ることが重要であることが読み取れますね。



釣り中の事故者28人が「どんな事故に遭ったか」ということですが**最も多いのは「海中転落」**です。

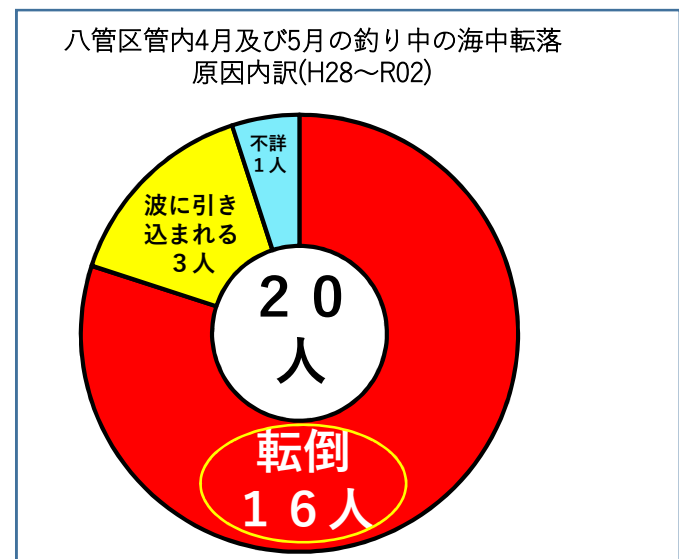
釣り中に残念ながらお亡くなりになられた方が5人おられますが、5人ともが海中転落によりお亡くなりになっています。

亡くなられた5人のうち  
4人が救命胴衣非着用！



なぜ釣り中に海中転落したのか？ということですが、最も多い原因は「転倒」によるものでした。4月になっても天候の急変などで波の高い日もあります。釣り場というのは足場も悪く、時には波が足元まで来ます。よって釣り場での転倒は即「海中転落」に繋がります。

残念ながら釣り中にお亡くなりになられた5人の方のうち4人は転倒して海中転落したことでお亡くなりになっています。(もう1名は海中転落に至った原因不明)

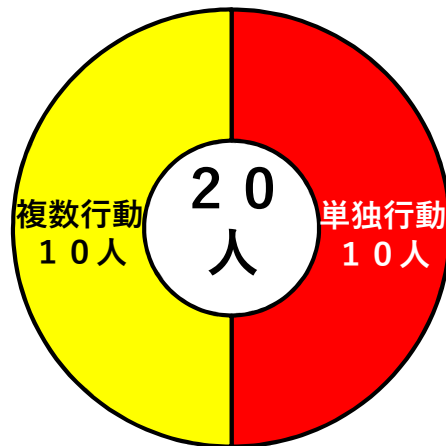


釣り中の事故者20人の行動形態を分析すると、ちょうど半分が単独行動。もう半分が2人以上の複数行動でした。

しかも、釣り中の海中転落でお亡くなりになられた5人はいずれも「**単独行動**」をとっていたことが判明しております。

単独行動であると事故の発生を気付いてもらうことが出来ず、結果死亡に繋がるリスクが増すので要注意です。

八管区管内4月及び5月の釣り中の海中転落行動形態別内訳(H28~R02)



### 過去5年の春季人身海難の傾向と対策

- 4月及び5月は人身海難発生件数が微増傾向を示し始める季節！
- 釣り中の海中転落が最も多く発生！
- 釣り場で転べば直ぐに海中転落！
  - 周辺の環境には常に注意を払うとともに、滑りにくい靴を履くなど装備を整えて釣りを行いましょう
- 過去5年、釣り中に亡くなった5人のうち4人が救命胴衣非着用
  - 救命胴衣は釣り人のユニフォーム！常時着用しましょう。
- 釣り中の死亡者は全員が「単独行動」
  - 万が一の備え、複数名で行動するようにしましょう



安全推進釣具店



安全推進アングラ-



当管区においては「**安全推進釣具店**」や「**安全推進アングラ-**」と連携して釣り人の事故防止啓発活動に取り組んでいます！

次ページ

Topics 家族や友人に行先を伝えましょう

## Topics 家族や友人に行先を伝えましょう

海上保安庁ではマリレジャーを楽しむ皆さんに、「行先等を家族に伝えましょう」とお話しさせていただいています。具体的に伝えてほしい情報としては

- ① 行先
- ② 帰宅予定時刻



の2点です。なぜこの2点を伝えてほしいか、というところですが

### ① 行先

→ 海難を認知した海上保安庁は直ちに巡視船や航空機を投入します。検索場所は広大な海。一刻も早く効果的な捜索を行うにあたって海上保安庁が欲しい情報は「**どの辺で事故が発生したのか**」という情報です。もし家族や友人に「**〇〇港の◇◇の辺りで釣りするよ**」という情報が伝わっていれば、重点的に捜索する範囲を検討する貴重な情報となります。

### ② 帰宅予定時刻

→ 「**△時に帰ってくると聞いていたのにまだ帰ってこないんです**」という118番通報で海難の発生を認知した事案は数多くあります。万が一の事故が発生したとき、海上保安庁に事故発生の第一報を知らせるのはあなたの家族や友人かもしれません。

何も起きないのが1番ですが、起きてしまった時に備えて。備えあれば憂いなしです！

## 釣りに行く前に気象状況をチェック！

海上保安庁では、全国各地の灯台等で観測した気象・海象の現況、灯台からのライブカメラ画像などの「**海の安全情報**」を提供しています。

「**海の安全情報**」はインターネットを通じて誰でも簡単に利用する事が出来ます

パソコン用サイト  
<http://www6.kaiho.milt.go.jp/>



スマートフォン用サイト  
<http://www6.kaiho.milt.go.jp/sp/index.html>



### 緊急情報配信サービス

24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

### 新規登録用ページ

スマホ・PC向け  
<http://www7.kaiho.milt.go.jp/micsmail/reg/broadband.ht>



携帯電話向け  
<http://www7.kaiho.milt.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。

海の安全情報

検索



第八管区海上保安本部

## 編集後記

今回のSpring Reportでは、4月、5月の船舶海難及び人身海難の発生傾向を分析し、事故防止対策を検討しました。

そういえば、春は急な天候の変化が生じやすい季節とも言われます。

「久しぶりの休み！今日は日頃の仕事を忘れて釣りを楽しむぞ！」と意気込んだはいいものの、釣り場に付いたら何やら雲行きが怪しい……。こんな経験ありませんか？？そしてこんな時あなたならどうしますか？？私達海上保安官としては是非勇気を持って「今日は帰ってまた出直そう」という判断をしてほしいなと思います。

荒天下での釣りなどのマリンレジャーは大変危険です。高波によって船が転覆したり、はたまた足を取られて海中転落。さまざまな危険が潜んでいます。もし大切な命を失くせば、二度とマリンレジャーを楽しむことはできません。楽しみにしていた時に天気が悪くなってきたらショックも大きいかとは思いますが、それでも！生きていればまた必ず楽しい時間がやってきます。

是非とも「今日は帰って家でゆっくりしよう」という勇気ある判断をお願いいたします。あなたの帰りを待つ家族は、その勇気ある判断を支えてくれるとともに、あなたが笑顔で帰ってくるのを待っています。

